# 花と一万人の会　ジュニアスタッフ入団式

## 河川敷の清掃活動を実施 11月25日

大形小学校の４、５、６年生は、地元ボランティア団体である「花と一万人の会」のジュニアスタッフとして、同会が開催するイベントや活動などに参加して、川の素晴らしさや地域の環境に対する理解を深めています。

この日、大形小学校東側の堤防下で行われた入団式では、同会の飯島順一会長から、同校の４年生・11人がスタッフ任命の証である蛍光緑の帽子を手渡されました。その後行われた鬼怒川河川敷のクリーン作戦では、新入団員たちがごみ拾いを行い、河川の美化に取り組みました。

入団した大形小学校の４年生と関係者

# 下妻市スポーツ少年団が奉仕活動を実施

歩道のごみ拾いをする児童（リトルやはた・下妻リトル大和）

スポーツ少年団は、スポーツを楽しみ、社会活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶとともに、地域社会の活性化に貢献する活動をしています。

下妻市スポーツ少年団では、12月の各団の活動日に合わせて、市内28団体の団員・指導者・保護者による下妻市スポーツ少年団奉仕活動が行われ、各団ごとに、いつも利用している施設やその周辺のごみ拾いを実施しました。同団本部長の平石雅裕さんは「奉仕活動は、本来であればスポーツ少年団全体の活動の一環としての行事です。しかし、コロナの終息が見えない状態では通常の形態で実施できず、各団ごとに清掃活動を実施しました」と話しました。

# ボランティアによる昔語り　大宝小学校1・2年生 12月7日

大宝小学校の１年生と２年生が、ボランティアによる昔語りを聞きました。この講座は、下妻市社会福祉協議会の福祉教育メニューの一環として実施されたもので、地域に伝わる伝説や昔話を、方言を使って語るものです。

この日は、ボランティアの小林百子さんと山崎正子さんが、高道祖地区に残る伝説の「弥六が清水」や昔話の「ねずみの相撲」などの題材を、軽妙な語り口で語りました。同校の１、２年生は、２人の話に熱心に聞き入っていました。

児童に語り掛ける小林さん（左）・話に聞き入る児童（右）

１年生の坂本結唯さんは「弥六が清水の話で、飲む人によって水がお酒になったりするところが面白いと思いました」と話していました。また、小林さんは「伝説の中には、昔の人たちの苦労が隠されていることもあります。子どもたちには、昔の人たちの生活を伝えられれば」と話していました。





租税教育　問 学校教育課　☎ 44－0740　FAX 43－9608

# 税に関する絵はがきコンクール表彰式を開催

12月２日、第５回「税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が、市役所千代川庁舎内で行われました。下館税務署管内で応募のあった1,304点の作品の中から、市内小学生の３人の作品が入賞し、併せて騰波ノ江小学校が学校賞を受賞しました。

表彰式では三井浩下館税務署長と横瀬教育長から、入賞者に表彰状が手渡されました。

■下館税務署長賞
騰波ノ江小学校　6年　粟野瑞喜さん
■下館法人会女性部会優秀賞
騰波ノ江小学校　6年　粟野玲衣さん
上妻小学校　6年　関　美智雄さん
■学校賞　下妻市立騰波ノ江小学校

左から横瀬教育長、関美智雄さん、粟野瑞喜さん、粟野玲衣さん、三井下館税務署長

英語教育　問 指導課　☎ 44－0746　FAX 43－9608

# 第12回下妻市小中学校合同英語フォーラムを開催

発表をする小学生

12月10日、市内小学６年生と中学２年生の各クラスから選抜された17チームが千代川公民館に集まり、英語による発表会を行いました。

この取り組みは、英語で自分の意見を発信し、友達と協働しながら課題を解決することなどを目的に開催しているもので、小学生の部では「学校紹介」「趣味」についてなど、中学生の部では「知ってほしい茨城の歴史」についてテーマとし、各チームごとに発表者と聞き手に分かれて伝え合いました。

参加した大宝小学校６年生の横田啓樹さんは「趣味のピアノについて発表しました。上手く伝えることができました」と話していました。また、同じく千代川中学校２年生の猪瀬夏美さんは「初対面の人とも楽しく英会話ができました。英語でも新しい友達ができるという自信がつきました」と話していました。

英語教育　問 指導課　☎ 44－0746　FAX 43－9608

# 台湾の中学生とオンライン英語交流

市内各中学校の２年生が、台湾の中学生とオンラインによる交流を行いました。本市では、下妻市英語推進事業の一つとして、令和２年度から海外とのオンライン英語交流を実施しており、昨年はオーストラリアの中学生との交流を行いました。

参加者たちは「各校の紹介」や「ゲーム・アニメ」についてモニターやタブレット越しに交流し、互いの文化などの理解を深めていました。千代川中学校の中里咲貴さんは「日本で有名なものが台湾でも有名だったりしたので、国は異なるけれど身近に感じることができました」と話していました。

台湾の中学生と交流する千代川中の２年生